

令和5年3月10日発行

演劇・映画の専門図書館

# 松竹大谷図書館ニューズレター

No. 300(2023年3月)

## ■文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」・研究拠点形成支援プログラム研究プロジェクト 2022年度成果発表会(オンライン)

2023年2月24日 発表者：武藤祥子

立命館大学アート・リサーチセンター(以下ARC)は、1998年に文理融合による文化・芸術の研究拠点として立命館大学衣笠キャンパス内に設立された研究機関である。ARCは、2014年より文部科学省共同利用・共同研究拠点に認定されたことを受けて、日本文化の有形・無形文化財のデジタル・アーカイブを研究テーマとする共同研究を推進している。2019年10月には文部科学省の国際共同利用・共同研究拠点の認定を受け、日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点として活動を開始し、より広く国内外より研究プロジェクトを公募し、海外の著名美術館・博物館を含む日本文化研究拠点との人的ネットワークを活用しながら、デジタル・ヒューマニティーズ分野の“世界水準の研究拠点形成”を目指している。当館は、個別テーマ設定型の共同研究プロジェクトに2014年度より採択され、今年度も「演劇上演記録データベースを活用した、演劇資料画像検索閲覧システムの構築に関する研究」という研究課題で引き続き活動を行った。この国際共同研究拠点の2022年度成果発表会が2023年2月24日(金)、25日(土)にかけオンラインで開催され、当館は24日に発表を行った。本研究は、武藤が研究代表者を務め、研究分担者として立命館大学文学部教授の赤間亮先生、明治大学兼任講師の村島彩加先生、早稲田大学演劇博物館助教の原田真澄先生、明治大学理工学部兼任講師の武田寿恵先生と、松竹大谷図書館の井川・佐々木の計7名で研究メンバーを構成している。今回は村島先生と武藤の2名で発表を行った。

当館が行っている研究は、当館が管理している演劇上演記録のデータのうち、過去のデータをより精緻な内容にすると共に、資料アーカイブのメタデータとして活用していく活動を課題としている。当館では演劇資料の整理の基礎となる「上演情報」の基本データの不完全な情報について、劇場プログラムなどの資料を典拠に、考証を進めて追加していくことでデータの精度を上げ、演劇に関する研究や資料整理の基礎となる上演記録データベースを構築し、さらにそのデータを資料アーカイブの構築に活用することを目的としている。今期は演劇上演記録データベースのジャンル別の考証作業として、2015年度から継続して進めている各劇場で催された舞踊会のプログラムを網羅的に入力する作業を行い、これまで6,738点のプログラムから累計16,094件の入力を完了する事ができた。

続いて、画像検索閲覧システムの構築についての成果を報告した。当館はこれまで、「義太夫正本」「芝居番付」「GHQ検閲歌舞伎台本」「組上燈籠絵」特別資料閲覧システム(「川上音二郎・貞奴一座欧米公演関係資料アルバム」)新派上演年表(戦後)の6つのデータベースを本研究において公開済である。そのうちまず、2020年10月に公開した「特別資料閲覧システム」が本年度活用された事例を2件報告した。本閲覧システムで現在閲覧可能な「川上音二郎貞奴訪欧公演アルバム」は、2018年のクラウドファンディングで得た支援金で修復及びデジタル化を行ったものである。今期、このアルバムとアーカイブについてウェブマガジン「和楽Web」の22年11月公開の特集記事で詳しく紹介して頂いた。また、音二郎が自宅を構えた神奈川県

### 目次:

文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」・研究拠点形成支援プログラム研究プロジェクト 2022年度成果発表会(オンライン)	1-2
第96回所蔵資料ミニ展示「映画俳優 三國連太郎 生誕100年、没後10年」開催のお知らせ	2
所蔵資料紹介 - [3]本木克英監督作品 映画台本 -	3
新着資料案内	3
資料をご寄贈くださった方々	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
休館のお知らせ	4
利用案内	4

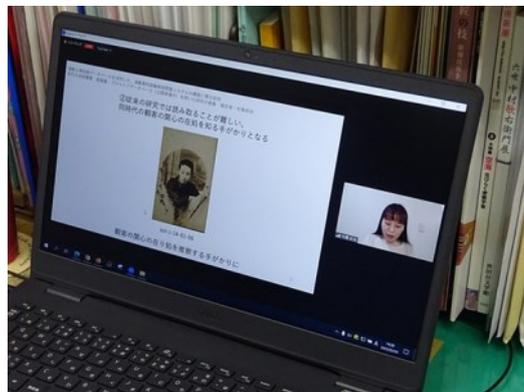


当館書庫内で発表中の武藤

茅ヶ崎の市立図書館で開催された、茅ヶ崎市美術館の小川館長による講演会でも、アルバムとアーカイブについてご紹介頂き、現在は、YouTube映像でその講演会が視聴できる事を報告した。

続いて、本年度の大きな成果として、歌舞伎座の戦前の筋書と絵本番付のデジタル・アーカイブを22年の7月に公開した件について報告した。本件のデジタル化の経緯については、2020年のクラウドファンディングで得た資金で、研究分担者である赤間先生および赤間研究室の皆様の協力のもと、約1,180冊の筋書をデジタル撮影して頂き、その画像データにARCの日本芸能・演劇 総合上演年表DBなどを活用した書誌を付与して、既存の《芝居番付検索閲覧システム》に統合したものである。昨年7月にデータを公開した際には、公開のタイミングに合わせてプレスリリースを行い、東京新聞や読売新聞を始め多くのメディアに取り上げられ、赤間先生にもコメントを頂くなど取材にご協力いただいた。また、ネットでは、松竹株式会社HPおしらせページでのプレスリリース(PDF)による告知、歌舞伎美人HPニュースページ、歌舞伎on the web、えんぶの情報サイト演劇キック、SPICE エンタメ特価型情報メディアスペース、ぴあニュース、THE SANKEI NEWSその他、YAHOO! ニュースなど、ニュースまとめサイトでも取り上げられ、一般の方にもツイートして頂くなど、歌舞伎座の筋書のデジタル・アーカイブの公開というニッチな話題について広く発信する事が出来、実際番付の出版物への掲載の話や、筋書をデザインに使用した商品の開発などの話を頂くなど、所蔵資料の活用促進という面での成果を報告した。

最後に、現在公開準備中のデジタル・アーカイブとして《演劇写真検索閲覧システム(仮称)》について報告した。これは、2019年のクラウドファンディングで得た支援金で、約1万2千枚の歌舞伎ブロマイドをARCでデジタル撮影して頂き、この画像データを基に現在書誌入力を進めているものである。今期は村島先生がこのデータベースの画像を活用して大きな研究成果を上げて下さり、後半の発表でご報告頂いた。まずは、当館が所蔵する歌舞伎ブロマイドを用いた研究の意義について、歌舞伎の古写真研究がご専門の研究者の視点から解説して頂いた。村島先生によると、明治大正期の演劇写真データ公開がもたらす学術的影響力として、第一には、近代日本演劇史研究における



村島先生のご発表

歌舞伎の近代化を考察する上での資料となること、第二には、従来の研究では読み取ることが難しい同時代の観客の関心の在処を知る手がかりとなること、第三には、他分野(日本史、歴史写真研究)への影響、が挙げられるという。このうち第二の点について、十五世市村羽左衛門が掛け軸から抜け出たようなポーズをとった写真を例に、現在のアイドルのファンが推しの写真を求めるのと同じような関心を持って、当時の観客が最員の歌舞伎俳優の写真を求めた事について説明頂いた。また、第三の点について、歌舞伎俳優の扮装写真は撮影時期や撮影者などの情報が比較的特定し易いことから、写真の台紙デザインの情報なども併せて、他分野への援用が可能となることなどを解説頂いた。そして最後に昨年の課題として挙げていた「国内外の研究者や一般に向けて本研究の意義と成果を広く伝えること」の成果として、昨年『舞台の面影 演劇写真と役者・写真師』(森話社)を上梓され、同書が《第44回サントリー学芸賞》受賞〔芸術・文学部門〕、そして先月2月には第二十八回AICT演劇評論賞の受賞が発表された事についてご報告頂いた。

今回の発表会では、今期の当館のデジタル・アーカイブの活用事例と、村島先生のご著書の成果を報告する事が出来た。画像データベースは画像データを保存する事が最終目的ではなく、書誌を入力して検索を可能としたアーカイブを構築し、それを公開し画像を活用してもらう事にこそ大きな意義がある。当館は今後もARCと提携して所蔵資料の公開を行っていきたいと考えている。

▼松竹大谷図書館デジタルアーカイブ

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/da/da.html>

## ■第96回所蔵資料ミニ展示「映画俳優 三國連太郎 生誕100年、没後10年」開催のお知らせ

本年は、三國連太郎の生誕100年、没後10年にあたる年です。

約180もの映画作品に出演した三國連太郎は、松竹に縁の深い俳優です。その映画人生は、昭和25年に松竹大船撮影所に研究生として入所したことから始まりました。翌年に木下恵介監督作『善魔』の主演に抜擢され、新人ながらも迫力ある演技を見せて注目を集めました。このときの役名「三國連太郎」を芸名にしたことはよく知られています。昭和27年に松竹を離れた後も活躍を続け、主役傍役を問わず多くの作品で鮮烈な印象を残しました。また、昭和63年12月に誕生した松竹の人気シリーズ『釣りバカ日誌』にスーさん役で出演し、22年の長きにわたり映画ファンを楽しませました。

今回は所蔵資料から、台本、プログラム、プレスシート、ポスターなどを選びすぐり、当館閲覧室にて展示します。



昭和26・27年に出演した松竹作品台本。左がデビュー作『善魔』

閲覧室ミニ展示「映画俳優 三國連太郎 生誕100年、没後10年」

展示期間:2023年3/16(木)~4/26(水)/時間:平日10時~17時/休館日:土日祝日、毎月最終木曜日/展示場所:松竹大谷図書館 閲覧室 ※現在、展示は予約なしでご覧いただけます。松竹大谷図書館 TEL 03-5550-1694 (平日:10時より17時)<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

## ■所蔵資料紹介 —[3]本木克英監督作品 映画台本—

松竹大谷図書館の所蔵資料を写真と共にご紹介するコーナーの3回目は、本木克英監督の映画台本です。本木監督は1987年に松竹に入社し、助監督やプロデューサーを経て1998年『てなもんや商社』で監督デビューしました。『釣りバカ日誌』シリーズ3作や『超高速!参勤交代』など話題作でメガホンをとり、2017年に退社した後も、『空飛ぶタイヤ』や現在公開中の『シャイロックの子供たち』などの松竹配給作品で監督を務めています。当館は、本木克英監督の全19作品の映画台本を所蔵しています。台本をお読みになりたい方は是非、前日までのご予約の上ご来館ください。当館HPの「資料検索」にて検索可能です。



本木克英監督作品 映画台本 19作品

▽「資料検索」<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

## 新着資料案内 (ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系2月演劇公演資料		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『三人吉三巴白浪』	○	○		
	『女車引』		○		
	『新歌舞伎十八番の内 船弁慶』	○	○	○	○
	『通し狂言 霊験亀山鉾 亀山の仇討』	○	○		
新橋演舞場	『喜劇老後の資金がありません』	○		○	○
	OSK日本歌劇団『レビュー春のおどり』	○		○	○
南座	『歌うシャイロック』	○		○	
松竹座	OSK日本歌劇団『レビュー春のおどり』	○		○	○
博多座	『三代猿之助四十八撰の内 新・三国志 関羽篇』	○		○	○
	『夢見る力 特別舞踊公演』				
	『歌うシャイロック』	○		○	

◆他社演劇公演資料 (2022年12月-2023年2月) (順不同) serial number 『Bug』サンモールスタジオプログラム/オフィスコトネブロードュース『磁界』下北沢小劇場B1プログラム/劇団温泉ドラゴン『悼、灯、斎藤』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/Nana Produce『いごっそうと夜のオシノビ』サンモールスタジオプログラム/T-WORKS『三文姉妹』下北沢「劇」小劇場プログラム/劇団アレン座『点滅』サンモールスタジオプログラム/月影番外地『暮らしなずむばかりで』ザ・スズナリプログラム/風姿花伝プロデュース『おやすみ、お母さん』シアター風姿花伝プログラム/演劇集団Ring-Bong『さなぎになりたい子どもたち』座・高円寺1プログラム/東京演劇道場『わが町』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/『ザ・ビューティフル・ゲーム』日生劇場プログラム/『JOHNNYS' World Next Stage』帝国劇場プログラム/『ファースト・デート』シアタークリエプログラム/『サラリーマンナイトフィーバー』三越劇場(日本橋)プログラム/劇団民藝『ノア美容室』紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYAプログラム、台本/『オンディース』東京芸術劇場シアターウエストプログラム、台本/Road ONE『朗読劇 思い出を売る男』恵比寿EBISUTAプログラム/『第169回文楽公演』国立文楽劇場プログラム

◆映画資料 『シャイロックの子供たち』台本、ポスター、プログラム/『なのに、千輝くんが甘すぎる。』ポスター、プログラム

◆映画プログラム (順不同) 『崖上のスパイ』『Sin Clock』『ボーンズ アンド オール』『そばかす』『めがね』『5人のテーブル』『007私を愛したスパイ』『クレオパトラ』『BLUE GIANT』『逆転のトライアングル』『ワース 命の値段』『湯道』『アラビアンナイト 三千年の願い』『アントマン&ワズプ:クアントマニア』『バビロン』『ICE ふたりのプログラム』『バイオレント・ナイト』『スクロール』『#マンホール』『マジック・マイク ラストダンス』

◆演劇雑誌 (順不同) 『Bunkamura magazine』No.207-No.209/『Confetti』2023年March/『JPL』No.87/『act guide [アクトガイド]』2023 Season 14/『あぜくら』2023年2月号/『ほうおう』2023年4月号/『テアトロ』俳優・タレント養成ガイド2022年度版,2023年3月号/『ラ・アルプ』2023年3月号/『喝采』2023年5月号/『劇評』第11号/『国立演芸場公演ガイド』令和5年3月号/『大向う』令和5年3月号/『長唄』132号/『日本芸術文化振興会ニュース』2023年3月号/『日本照明家協会誌』2023年2月号/『日本舞踊』75巻3月号/『悲劇喜劇』2023年3月号/『舞台芸術通信PROBE』16号/『邦楽の友』令和5年3月号

◆映画雑誌 (順不同) 『FLIX』2023年4月号/『SCREEN』2023年4月号/『TVガイド』2023年2/10号,2/17号,2/24号,3/3号/『おとなのデジタルTVナビ』2023年4月号/『キネマ旬報』2023年増刊キネマ旬報NEXT Vol.47,3月上旬号,3月下旬特別号映画業界決算特別号/『シナリオ』2023年4月号/『シナリオ教室』2023年3月号/『ドラマ』2023年3月号/『ピクトアップ』2023年4月号/『映画芸術』482号/『映画時報』2023年2月号/『日経エンタテインメント!』2023年3月号/『文化通信ジャーナル』2023年3月号/『Iwanami Hall』No.10-No.13, No.15, No.19, No.24, No.25, No.27, No.30-No.68/『友 Iwanami Hall』No.69-No.89, No.91, No.92, SPECIAL NUMBER 10[94号], No.95-No.100, No.102-No.108, No.110-No.118, No.120, No.122-No.145, No.147-No.189, No.191, No.193, No.194, No.196, No.198, No.199, No.201, No.202, No.204, No.206, No.207, No.209, No.212, No.214-No.217, No.219, No.220, No.222-No.249, No.251-No.257, No.259-No.309, No.311-No.321

## 資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2022年12月-2023年1月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、シナリオ・センター、株式会社日本舞踊社、歌舞伎学会、国立劇場、愛知芸術文化センター、中部京子、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、有限会社合同通信社、キネマ旬報社、岡本和宜、帝国劇場、劇団民藝、文学座、玉川大学教育博物館、日本映画テレビプロデューサー協会、小津安二郎松阪記念館、丸善出版株式会社、黒澤明研究会会誌、樽松大剛、高松潤、シアタークリエ、若林さだ吉、公益社団法人日本演劇興行協会、(株)井筒東京、公益社団法人日本照明家協会、国立歴史民俗博物館、一般社団法人日本民間放送連盟、国立映画アーカイブ、劇団銅鑼、おとなのデジタルTVナビ編集部、(株)近代映画社、東宝株式会社映像事業部、銀座百店会、公益社団法人日本劇団協議会、株式会社カモミール社テアトロ編集部、新国立劇場情報センター、銀座 博品館劇場、一般社団法人 中島勝祐記念会、ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ、博多座、邦楽の友社、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、児童・青少年演劇ジャーナル「げき」編集委員会、無声映画鑑賞会、公益財団法人日本近代文学館、劇団青年座、墨染会、人形劇団ブーク、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部、一般社団法人関西常磐津協会、藤谷浩二、BS松竹東急、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、山口博哉、紀伊國屋ホール、株式会社文学座、神奈川県演劇連盟

どうもありがとうございました

# 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和5[2023]年2月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座  
歌舞伎座サービス株式会社  
歌舞伎座舞台株式会社  
有限会社合同通信社  
松竹株式会社  
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター  
松竹音楽出版株式会社  
松竹芸能株式会社  
株式会社松竹サービスネットワーク  
松竹ブロードキャスティング株式会社  
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人 (50音順・敬称略)

肥土千恵子  
鈴木舟光

どうもありがとうございます

## 松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお申し上げます。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせていただきます。

《現在のご利用について》(※2023年3月10日改定)

- 開館時間 10:00~17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。  
当日のご利用は、閲覧席に空きがある場合のみ承ります。  
松竹大谷図書館 03 (5550) 1694 (平日10時~17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。
- ご利用の際はマスクの着用と手指の消毒のご協力をお願い致します。

《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でのご予約制になります。
- ★お名前、人数、ご希望日時(〇月〇日〇時より〇時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索: <https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら: <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>

令和5年3月2日(木)より  
3月15日(水)まで  
3月16日(木)より開館いたします  
春期整理休館のお知らせ



- 利用案内●[開館時間]平日10:00~17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担)但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館  
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階  
TEL:03-5550-1694  
公式HP● <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>  
公式Facebook● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>